

2026年5月26日

関電不動産開発株式会社

北陸エリアで3件目となる物流施設開発事業
「KRD-Logistics石川内灘」の竣工について

関電不動産開発株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：福本恵美）（以下、当社）が、石川県河北郡内灘町において開発を進めておりました物流施設「KRD-Logistics石川内灘」（以下、本施設）が、本日竣工しましたのでお知らせいたします。



施設外観

物流施設は当社の主要アセットの一つであり、現在、出資事業および本施設を含め15施設を保有・運用しております。今後も高い需要が見込まれるエリアへの積極的な投資を通じて、物流事業の成長と拡大を継続的に図ってまいります。

■ 本施設の立地

石川県内灘町は、北陸エリアの中心部に位置し、北陸3県の主要都市へと配送が可能であることに加え、人口集積都市（金沢市、小松市等）に近く、消費財の物流にも適した地域です。また、北陸有数の工業都市（白山市等）における産業用でのニーズも見込まれます。

本施設は、北陸の幹線道路である北陸自動車道「金沢東インターチェンジ」まで、車で約15分、金沢市中心部（金沢駅）まで車で約20分の立地となっております。



広域図



狭域図

■ 本施設の特徴

本施設は、当社にとって北陸エリアで3件目となる物流施設開発事業であり、約28,000㎡の敷地に地上2階建・延床面積約27,000㎡のマルチテナント型物流施設を建設したものです。

1) 機能性・汎用性を兼ね備えた倉庫スペック

- ・テナント区画は合計約25,000㎡、4分割での入居も可能
- ・梁下有効天井高5.5m以上、1階トラックバースは柱スパン10mを確保することで、1スパン2台駐車、計24台駐車可能とし、20台分の待機スペースも配置
- ・床荷重は1.5t/㎡を確保
- ・荷物用エレベーター4基、垂直搬送機4基、ドックレベラー4基を実装

2) ゼロカーボンへの取組み

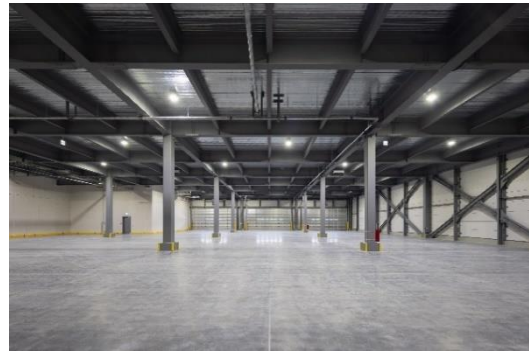
- ・全館LED照明、節水型トイレ・水栓を採用することで省エネに配慮。屋上には太陽光発電設備、屋外の駐車場スペースにEV充電設備（1基）を設置。オール電化に加え、再生可能エネルギー由来の実質CO2フリーのゼロカーボン電気を受電することで、建物全体におけるCO2排出量の実質ゼロを実現。BELS評価^{※1}最高ランク「6つ星」と「ZEB Ready」認証を取得。

※1 BELS評価は、国土交通省が推進している建築物の省エネルギー性能を評価・表示する統一的な公的指標





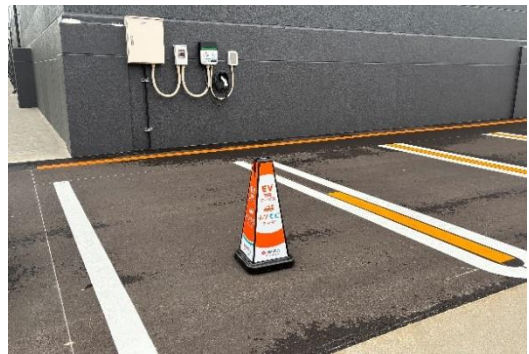
事務所内



倉庫内



太陽光発電設備



EV 充電設備

■ 本施設概要

- 所在地：石川県河北郡内灘町字千鳥台五丁目1-2（地番）
- アクセス：北陸自動車道「金沢東インターチェンジ」まで車で約15分
- 敷地面積：27,771.27 m²（8,400.81 坪）
- 建築面積：14,261.29 m²（4,314.04 坪）
- 延床面積：27,221.29 m²（8,234.44 坪）
- 構造規模：鉄骨造 地上2階
- 主要用途：倉庫（倉庫業を営む倉庫）
- 設計：大和ハウス工業株式会社
- 施工：大和ハウス工業株式会社
- 着工：2025年5月26日
- 竣工：2026年5月26日

■ 本ニュースリリース配付先

大阪建設記者クラブ、国土交通記者会

以上